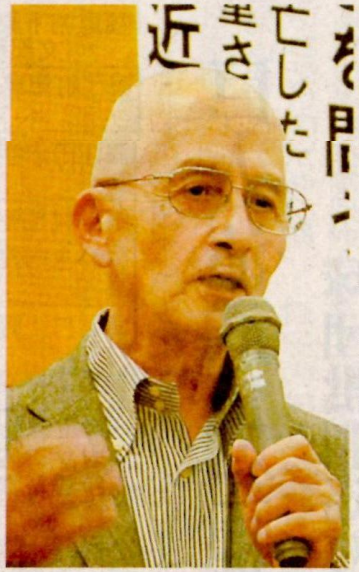
大分

大分支局 〒870-0023 大分市長浜町2-13-29
電話097・532・4131 FAX532・4134
oita@mainichi.co.jp
【通信部】
別府0977・23・3361 佐伯0972・20・4472
日田0973・23・2365 宇佐0978・32・2333

被害拡大が悪

イレッサ訴訟 原告近沢さん 製薬会社にクギ



肺がん治療薬「イレッサ」訴訟の原告団代表、近沢昭雄さん(58)＝さいたま市＝の講演会が27日、大分市であった＝写真。

02年10月、次女三津子さん(当時31歳)をイレッサの副作用の間質性肺炎で失った。英国の製薬会社「アストラゼネカ」の抗がん剤で、02年7月に国が承認。がん細胞だけを狙って副作用が少ない「夢の新薬」と大々的に宣伝されたが、2カ月後に死者が出て、11年9月末までに843人が死亡した。

承認は通常1年半～2年かかるが、約半年だったことや、誇大広告で副作用情報を伏せた製薬会社や医師の姿勢を批判。「イレッサ自体が悪いのでなく、被害拡大を防げない姿勢改善を」と訴えた。

イレッサは従来の薬害と異なり、現在も使われているため、近沢さんらは、処方を求める患者らから非難を受けるという。訴訟の意義について「同じ悲しみや苦労を生まないよう、今後の医療に役立てることだ」と話した。【深津誠】

今年も河野さん

めじろん放送局最優秀賞

県の観光や文化などの情報を動画で発信するインターネット放送局「めじろん放送局」の投稿作品(10年9月～11年8月)の表彰式が25日、県庁であった。33作品から最優秀賞と最多視聴賞に2年連続で臼杵市の河野正利さん(66)が選ばれた。2月、臼杵市の「豊

河野さんの最優秀賞作品

はがき随筆

身近な死

お嫁さんのお父さんが亡くなった。この時代69歳は少し早すぎる。突然の悲報に接して、言葉もありませんでした。脳梗塞を患い入院していたが、薬石効なく短期日での逝去であった。

80歳の私が、先般狭心症で入院した折には、大変な励ましを受け、無事退院できたのに、彼は何も言わずに私より世に旅立って行った。

今は脳梗塞でも迅速であれば、治癒すると聞いたに、残念でならない。お嫁さん、そしてご家の無念さを思う時、たみ申し上げるのみでご冥福をお祈りしてい